

アジア太平洋腎研究推進室ニュース

2019年6月

去る6月21日から23日まで第19回ジャカルタ腎臓病および高血圧コース（JNHC & SH）に参加し講演する機会がございました。

インドネシアでは、
2017年のデータで
77,892の方が透析療法（HD 98%, CAPD 2%）
を受けておられます。

血液透析は、液体透析液
と個人用透析装置を用い
ています。



最近、血液透析濾過(HDF)についての関心も高くなっています。そうしたインドネシアでの現状をふまえ、パウダー透析液とセントラル方式人工透析システム(CDDS)、HDF 施行時の2大ポイント（high-flux hemodialyzer, ultra-pure dialysate）についてお話ししました。CDDSをどのように導入したらよいのか、HDFの適応と生命予後などについて質問がでました。多くの友人にも会うことができ楽しい学会でした。

(富野康日己)